

決算特別
委員会

保育所の待機児童解消へ対策を急げ!

さらがいふみ議員が要望

【質問】月19日以下・一日6時間未満の就労や、求職活動中などの「暫約児童」を合わせると、入所待ち人数はどれくらいか。
【答弁】待機児童・暫約児童合わせて、平成20年4月で78人、21年4月で84人である。

【質問】保育所の待機児童の状況は。
【答弁】平成20年度は4月当初で14人、12月で79人である。(21年4月は21人、11月1日現在43人)。なお、市が集計する「待機児童」とは、保護者がすでに月20日以上・一日6時間以上就労しているなど、入所要件を満たしている待機者である。

4月当初で80人前後が入所できず

保育所の待機児童の解消は、子育て世帯の切実な願いです。
決算特別委員会で、日本共産党のさらがいふみ議員は「保育所の新設・増設も含めて、待機児童解消のための計画を示し、対策を急ぐべきだ」と求めました。

待機児童解消の計画をたて、抜本的な対策を

【質問】市はこれまで、待機児童の解消のため、どのような取り組みをしてきたのか。
【答弁】平成17年に星田保育園が定員を増やしたほか、各園で定員の115%まで(4月当初)受け入れる弾力化を行ってきた。
【質問】定員の弾力化をしても、なお待機児童が解消しない状況が続いている。保育所の新設・増設が必要ではないか。
【答弁】財政状況が厳しく、施設の新設は難しい。



交野市の保育所待機児童数 (人)

年度	待機児童数	暫約児童数	合計
H18年 4月	21	10	31
H19年 4月	18	65	83
H20年	4月	64	78
	12月	81	160
H21年	4月	63	84
	11月	134	177

【質問】子どもの数が減っても、保育所のニーズは増えている。市は、待機児童解消のための、具体的な計画を示すべきだ。
また、緊急の対策として、認可外保育園に通う児童への保育料補助や、公立幼稚園での預かり保育を実施すべきだと考えるが。
【答弁】公立幼稚園での預かり保育の実施も含めて、今後の方向性を検討中である。

食物アレルギーの児童が増えてきています。乳幼児期に食物に起因するアレルギー症状に適切に対処することにより、将来、喘息や、他のアレルギー疾患が軽減するともいわれています。
枚方市や寝屋川市の保育所では、食物アレルギーの児童に対し、アレルギー食物を除去し、代替りの食材で食事を提供しています。しかし、交野市では、アレルギー食物を除去することが中心となっており、代替食は一部しか行われていません。幼児園の保護者からも代替食の要望が出されており、アレルギー児をかかえる保護者には切実な要求となっています。
さかの光雄議員は、「児童の発達においても、適切な代替食の提供が求められている」と述べ、

幼児園でアレルギー代替食の対応を

さかの光雄議員が要望

他市で実施されているアレルギー代替食への対応を早急に実施すべき」と要求しました。市は「実施できる方向で検討したい」と前向きな答弁を行いました。

幼児の給食におけるアレルギー対応食の人数

幼稚園 (530人に対し)	あまだのみや	あさひ	くらやま	合計
H18年度	17	11	9	37
H19年度	15	11	9	35
H20年度	19	15	9	43



かたの民報

議会版

2009年11月15日
NO.1489

【発行】
日本共産党
市議会議員団
ご相談は市役所
議員団控室へ
私部1-1-1
☎892-0121
(内線301)



中上 さち子
倉治6-17-13
☎893-6785



さかの 光雄
私部1-38-23
☎893-1083



さらがい ふみ
星田7-44-21
☎894-2835